

第2回「次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業」

中間評価検討会

議事録

1. 日時 平成28年11月25日(金) 15:00～16:00

2. 場所 経済産業省別館1階108各省庁共用会議室

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

浅沼 徳子	東海大学工学部原子力工学科 准教授
杉山 一弥	一般社団法人原子力産業協会 事務局長
関 哲朗	文教大学情報学部情報社会学科 教授
出口 朗	原子力発電環境整備機構 技術部長
※朽山 修	公益財団法人原子力安全研究協会 技術顧問

(研究開発実施者)

福井 寿樹	株式会社 I H I
鍋本 豊伸	株式会社 I H I
鬼木 俊郎	株式会社 I H I
牧 隆	日本原燃株式会社
兼平 憲男	日本原燃株式会社
駒嶺 哲	日本原燃株式会社
石森 有	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
長濱 洋次	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
佐々木紀樹	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福田 拓司	原子燃料工業株式会社
小口 一成	原子燃料工業株式会社

(事務局)

資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力立地・核燃料サイクル産業課

企画官 橋場 芳文

課長補佐 高野 龍雄

行政事務研修員 宮内 厚志

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

技術評価専門職 小木 恵介

4. 配付資料

資料1 第1回評価検討会議事録(案)

資料2 技術評価結果報告書(案)

5. 議事

(1) 開会

(2) 第1回評価検討会議事録の確認について

事務局から、「資料1 第1回評価検討会議事録(案)」について説明があり、議事録が了承された。

(3) 技術評価結果報告書(案)について

事務局及び研究開発実施者から、「資料2 技術評価結果報告書(案)」について説明があり、その内容について審議が行われ、以下の質疑応答の後、一部修正を行うこととして技術評価結果報告書(案)が了承された。追加的な修正については座長一任で行うこととされた。

○ガラス固化技術の基盤整備

【朽山座長】<発言>

今日、事業者の方から、全体の成果のところ、私が固化の方が大事でしょみたいな話しをしたものですから説明いただいたのですけれども、この報告書では前回の説明がそのところが不十分だったのでそういう評価になっているということで、報告書そのものはこの形にさせていただきたいと思います。

○低レベル放射性廃棄物の除染方法の検討

【関委員】<発言>

II-B-1 ページのところ、1文字脱字がありますので、1文字入れていただければ幸いです。

○事業全体

【朽山座長】<発言>

報告書そのものの内容ではないですが、費用対効果のところ、A委員が言ったような話と、それからいくつかベネフィットをはっきりさせなさい、ということがあったんですね。廃棄物の処理・処分の分野で、何がベネフィットになるかというのをきっちり主張しないと、一般に上流の物事を作っている、そういうところでのベネフィットとか波及効果とは全く違う価値を求めてやっているわけですよ。それをしっかりと、こういうところで書いていただかないと、これからいろんなところで廃棄物の処理・処分をきちんとやっていこうと人たちが、予算の獲得ですとか、仕事をやっていくというときに、マイナスになるので、そういうところについては、一般に今まで言われているような、追いつけ追い越せ型の波及効果であるとかベネフィットであるとかと違うものとしてこういうことをやっているんですよと、主張していただいた方が良いのかなと思いました。ガラス固化のところでも、私が、減容でこれだけお金を節約できるみたいなことが書いてあるというのは、それは違うでしょ、と言ったのはそういう意味で、本来そうではないのに、実際仕事をされている方もそうではないし、実際に固化をしようとしてやっておられるわけですよ、それなのにこれに合わせてそんなふうに書いてしまうというのは、逆にマイナスになると思いますので、そういうことはこれからいろんなとこ

ろで、ちゃんと我々は本当に正しいことを求めてやっているんだということを主張していただくのがいいのかなと私は思いました。これは報告書の問題ではなく、感想を申しました。

(4) 今後の予定について

事務局から、本評価検討会で了承された技術評価結果報告書（案）は、産業構造審議会産業技術環境分科会研究開発・イノベーション小委員会評価ワーキンググループで審議され、了承を得た後、経済産業省ホームページで公開されるとの説明があり、以下の質疑応答があった。

【出口委員】＜質疑＞

1点教えていただきたいのですが、最後のページのところに評価WGの改善点等というページがありますけれども、今のご説明は、今後評価WGが開かれて、そこで出たコメントにここが差し替わるという意味なのでしょうか。

【高野課長補佐（事務局）】＜応答＞

こちらに記載してございますのは事前評価時のものを記載してございまして、こちらの方に中間評価の場合のWGの意見ということで追記されるような形になってございます。

【出口委員】＜質疑＞

その場合のWGの評価というのはどういう形でやられるのでしょうか。こちらで今回まとめていただいた内容をご紹介いただいて、その評価を踏まえて評価されるのか、あるいはまたプレゼンをした上で評価をなされるのか、その辺のやり方を差し支えなければ教えてください。

【小木技術評価専門職（評価推進課）】＜応答＞

親委員会の評価WGでどういう形で評価するかというご質問だと思うのですが、今回まとめていただきました技術評価結果報告書（案）、これを評価WGでもう一度中身について全て説明していただくこととなります。これは原課である原子力立地・核燃料サイクル産業課の方から中身について説明いただきます。そのときに当然、評価検討会の方でこういう評価を受けましたということも含めて全体として説明していただくこととなります。その全体を評価WGの方で評価いたしまして、コメントいただくという形となります。

【出口委員】＜発言＞

ありがとうございました。

(5) 閉会

以上